

高校における心理学教育と心理学検定に関する調査 単純集計表

■ 調査の目的 ■

この調査は、高校と大学の心理学教育をより効果的につなぐための方法や支援等を検討することを目的として、日本心理学会教育研究委員会「高校心理学教育小委員会」および日本心理学諸学会連合「心理学検定局」の共同企画により実施されました。

結果の一部は、2026年度日本心理学会および日本心理学諸学会連合それぞれにおいて開催される公開シンポジウムのなかでも紹介する予定です。なお、自由記述で寄せられたご意見等は、さらに分析をおこない、高校等（大学入学前）における心理学教育充実のために、学会として役立ててまいります。ご回答にご協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

公益社団法人日本心理学会
一般社団法人日本心理学諸学会連合

■ 調査概要 ■

調査主体：公益社団法人 日本心理学会 教育研究委員会「高校心理学教育小委員会」
一般社団法人 日本心理学諸学会連合 「心理学検定局」

調査時期：2026年1月20日～3月8日

回答協力：日本心理学会会員，高校心理学教育連絡協議会会員，日本心理学諸学会連合加盟学会員

主な調査項目

- I 回答者の属性
- II 公民科における「倫理」の学習について（認知度・関心度など）
- III 心理学検定（級）の導入について（ニーズ・利用方法など）

■ 集計結果 ■

I 回答者の属性について

0. 回答者の身分

	人数(n)	%
大学生	7	0.7
大学院生・ポスドク	106	10.0
教員（大学，中学校・高等学校など）	585	55.0
一般（民間企業，研究機関，公務員など）	248	23.3
無職	40	3.8
回答しない	13	1.2
その他	64	6.0
計(N)	1063	100.0

1. 回答者の勤務先

	人数 (n)	%
私立大学・短期大学	407	38.3
国公立大学・短期大学	192	18.1
中学校	30	2.8
高等学校	73	6.9
高等専門学校	1	0.1
専修学校（専門学校）	5	0.5
民間企業	129	12.1
公的研究機関	24	2.3
現在、勤務先はない	88	8.3
その他	114	10.7
計 (N)	1063	100.0

2. 回答者の年齢

	人数 (n)	%
19 歳以下	1	0.1
20～29 歳	119	11.2
30～39 歳	145	13.6
40～49 歳	266	25.0
50～59 歳	259	24.4
60～69 歳	210	19.8
70～79 歳	59	5.6
80 歳以上	4	0.4
計 (N)	1063	100.0

3. 回答者の性別

	人数 (n)	%
男性	523	49.2
女性	514	48.4
回答しない	26	2.4
計 (N)	1063	100.0

4. 回答者の専門領域

	人数 (n)	%
原理・研究法・歴史	6	0.6
学習・認知・知覚	159	15.0
発達・教育	310	29.2
社会・感情・性格	137	12.9
臨床・障害	257	24.2
神経・生理	20	1.9
統計・測定・評価	15	1.4
産業・組織	81	7.6
健康・福祉	55	5.2
犯罪・非行	15	1.4
その他	8	0.8
計 (N)	1063	100.0

5-1. 心理学検定の受検の有無について

	人数(n)	%
受検したことがある	124	11.7
受検したことはない	931	87.6
回答しない	8	0.8
計(N)	1063	100.0

5-2. 心理学検定受検者が取得した最上位の級（受検したことがある 124 名の回答）

	人数(n)	%
2級	15	12.1
1級	49	39.5
特1級	57	46.0
合格していない	3	2.4
計(N)	124	100.0

6. 回答者がこれまでに取得した主な資格（複数回答可）

	人数(n)	%
認定心理士（日本心理学会）	173	16.2
臨床心理士（日本臨床心理士資格認定協会）	307	28.8
公認心理師（国家資格）	417	39.2
学校心理士（日本学校心理士会）	95	8.9
臨床発達心理士（臨床発達心理士認定運営機構）	60	5.6
精神保健福祉士（国家資格）	19	1.8
教員免許状（幼稚園・小・中・高等学校・特別支援学校）	383	36.0
上記に該当する資格はない	281	26.4
その他	114	10.7

※回答者 1063 名における複数回答のため 100%とはならない

II 高校「公民科」（公共・倫理）における心理学について

1. 高校の公民科の選択科目「倫理」に心理学の内容が導入されたことをご存知でしたか

	人数(n)	%
はい	331	31.1
いいえ	732	68.9
計(N)	1063	100.0

2. ご存知の方はいつ頃知りましたか（導入されたことを知っている 331 名の回答）

	人数(n)	%
2020 年以前（2018 年に新学習指導要領告示）	75	22.7
2021～2022 年	48	14.5
2023～2024 年（新学習指導要領「倫理」の授業が開始した頃）	160	48.3
2025 年	48	14.5
計(N)	331	100.0

3. ご存知の方はどのようにして知りましたか（複数回答可）

（導入されたことを知っている 331 名の回答）

	人数 (n)	%
文部科学省のホームページを見て	46	13.9
高校の公民科（公共・倫理）の新学習指導要領を読んで	56	16.9
高校の公民科（公共・倫理）の教科書を読んで	55	16.6
日本心理学会のホームページを見て	76	22.9
関連の講演・シンポジウムなどに参加して	66	19.9
日本学術会議の関係資料を読んで	17	5.1
大学の関係者から話を聞いて	105	31.7
高校の関係者から話を聞いて	49	14.8
その他	37	11.2

※回答者 331 名における複数回答のため 100%とはならない

4. 現行の高校の公民科（公共・倫理）の教科書をご覧になりましたか

	人数 (n)	%
読んだ	48	4.5
だいたい読んだ	50	4.7
ほとんど読んでいない	106	10.0
読んでいない	859	80.8
計 (N)	1063	100.0

5. 高校の公民科（公共・倫理）に心理学の内容が導入されたことに関心はありますか

	人数 (n)	%
非常に関心がある	315	29.6
関心がある	433	40.7
どちらかといえば関心がある	241	22.7
どちらかといえば関心がない	39	3.7
関心がない	22	2.1
全く関心がない	13	1.2
計 (N)	1063	100.0

6-1. 日本心理学会の中に「高校心理学教育連絡協議会」があるのをご存知ですか

	人数 (n)	%
はい	101	9.5
いいえ	962	90.5
計 (N)	1063	100.0

6-2A. 「高校心理学教育連絡協議会」があるのを知っている人（101 名）の入会の状況

	人数 (n)	%
会員である	30	29.7
入会を考えている	14	13.9
入会を考えていない	39	38.6
わからない	18	17.8
計 (N)	101	100.0

6-2B. 「高校心理学教育連絡協議会」があるのを知らない人（962名）の入会の意向

	人数(n)	%
入会を考えている	100	10.4
入会を考えていない	399	41.5
わからない	463	48.1
計(N)	962	100.0

7-0. 大学教員ですか

	人数(n)	%
はい	541	50.9
いいえ	522	49.1
計(N)	1063	100.0

7-1. 大学入学共通テスト「公共・倫理」の受験を、ご自身の所属大学の入試（一般選抜、特別選抜など）において推奨したいと思いますか（大学教員 541名の回答）

	人数(n)	%
推奨している	10	1.8
推奨したい	55	10.2
できれば推奨したい	105	19.4
どちらともいえない	244	45.2
あまり推奨したくない	40	7.4
推奨したくない	30	5.5
推奨が可能な入試は行っていない	57	10.5
計(N)	541	100.0

7-2. あなたは、高校の公民科（公共・倫理）の心理学の内容について、高校の教員が教えることに対して、情報提供などの支援をしたいと思いますか（大学教員 541名の回答）

	人数(n)	%
支援したい	95	17.5
できれば支援したい	180	33.2
どちらかといえば支援したい	193	35.7
どちらかといえば支援したくない	39	7.2
あまり支援したくない	16	3.0
支援したくない	18	3.4
計(N)	541	100.0

Ⅲ 高校生や大学等で心理学を学んでいない方を対象とした検定(級)を実施することについて
高校における教育や大学の入試などで心理学検定はどのように活用することが可能でしょうか

1. 高校生や大学等で心理学を学んでいない方を対象とした心理学検定の「級」が設定される
としたら、どのような利用方法が考えられますか（複数選択可）

	人数(n)	%
高校における心理学教育の手がかりとして	626	58.8
高校における探究学習の手がかりとして	531	49.9
大学での入学前教育として	400	37.6
大学入試（総合型選抜の評価・判定）における資格情報として	198	18.6
その他	75	7.0

※回答者 1063 名における複数回答のため 100%とはならない

2. 高校生や大学等で心理学を学んでいない方を対象とした心理学検定の「級」が設定されるとしたら、その結果をご自身の所属大学の入試（一般選抜、特別選抜など）に利用したいと思いますか

	人数 (n)	%
利用したい	49	4.6
できれば利用したい	116	10.9
どちらとも言えない	309	29.1
あまり利用したくない	93	8.7
利用したくない	173	16.3
利用が可能な入試は行っていない	176	16.6
対象外：私は大学教員ではない、または入試に関わっていない	147	13.8
計 (N)	1063	100.0